

# 平成20年度関東高等学校男子バスケットボール大会 兼 第62回関東高等学校男子バスケットボール選手権大会

平成20年 6月 1日(日)	ひたちなか市総合運動公園体育館	大会2日目	Cコート	第2試合 11:00~																
<b>&lt;チームA&gt;</b> <b>県立取手松陽</b> 茨城 1位		103 { <table border="0"> <tr><td>18</td><td>1Q</td><td>22</td></tr> <tr><td>23</td><td>2Q</td><td>15</td></tr> <tr><td>20</td><td>3Q</td><td>26</td></tr> <tr><td>26</td><td>4Q</td><td>24</td></tr> <tr><td>16</td><td>OT</td><td>14</td></tr> </table> } 101	18	1Q	22	23	2Q	15	20	3Q	26	26	4Q	24	16	OT	14	<b>&lt;チームB&gt;</b> <b>県立幕張総合</b> 千葉 2位		
18	1Q	22																		
23	2Q	15																		
20	3Q	26																		
26	4Q	24																		
16	OT	14																		

## 【Aブロック】

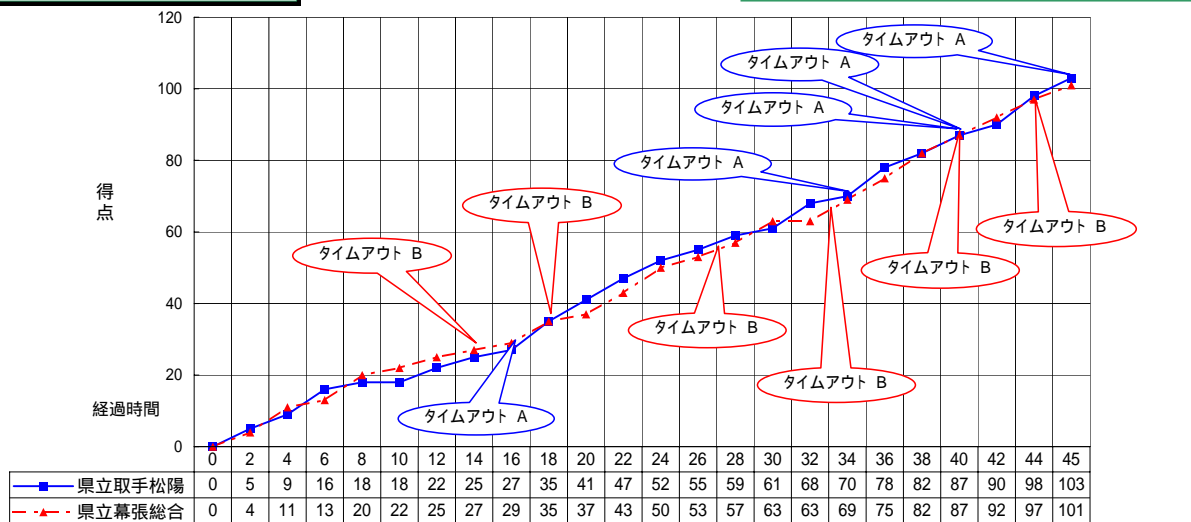
主審：高橋 伸次(指名) 副審：緒方 崇(東京)

S	No	選手名	得点	3P	2P	FT	Foul
	4	飛田 浩明	15	3		6	2
	5	来栖 翔太	27	5	6		2
	6	松岡 一成	27		11	5	3
	7	牧山 康太	17	2	4	3	3
	8	畑 昂志	11	1	3	2	2
	9	馬場 慶司					
	10	斉藤 竜之介					2
	11	斉藤 弘樹					2
	12	小川 俊樹	6		3		1
	13	小島 慎太郎					
	14	串田 巨至					
	15	豊田 稔朗					
	16	青野 友彦					
	17	土方 正憲					
	18	斉藤 大樹					
コーチ		佐藤 豊文					
合計			103	11	27	16	

S	No	選手名	得点	3P	2P	FT	Foul
	4	金子 琢哉	7		3	1	2
	5	横山 拓巳	22	2	8		1
	6	渡邊 良健	50	10	7	6	5
	7	山田 元太郎	1			1	3
	8	石澤 雄馬	7		3	1	4
	9	中村 考宏					
	10	阿部 勝馬	8		4		3
	11	重田 智幸					
	12	平田 和哉					
	13	山本 哲					
	14	本橋 涼					
	15	鈴木 暁良	6	1	1	1	3
	16	渡邊 清孝					
	17	松尾 和樹					
	18	高山 陽実					
コーチ		飯沼 加寿夫					
合計			101	13	26	10	

:スターター / :出場 / 3P:3点シュート成功本数 / 2P:2点シュート成功本数 / FT:フリースロー成功本数

## 得点の推移 (2分毎)



## 戦評

記入者：本橋 靖史

第1P、取手松陽(以下 松陽)、幕張総合(以下 幕総)ともディフェンスはハーフコートマンツーマンでスタート。立ち上がりは互角、松陽が 小川のミドルシュート、松岡のゴール下で得点を取れば、幕総も 金子の速攻からのシュート、渡邊の3pシュートで返す。残り4分、松陽5点リードの時点で幕総がハーフコート2-3ゾーンに変え、松陽の得点を止める。幕総は 石澤のドライブイン、渡邊のアウトサイドシュートなどで逆転、18-22幕総リードで第1P終了。

第2P、松陽はディフェンスをオールコート2-2-1ゾーンプレス-ハーフコートチェンジングディフェンスに変える。松陽は 飛田が3pシュート、3pのバスケットカウントを連続して決め、再逆転。幕総は 渡邊の3pシュートなどで対抗するものの、松陽も 松岡がゴール下、畑がドライブインで得点、41-37とリードを保ったまま前半終了。

第3P、両チームともハーフコートマンツーマンディフェンス。松陽は 飛田の3pのバスケットカウント、松岡の合わせからのゴール下シュートで加点。一方、幕総も 鈴木の3pシュートなどで返す。一進一退の攻防が続いたピリオド終盤、幕総 渡邊が3pシュートを連続して決め、61-63、幕総2点リードで第3P終了。

第4P開始から松陽の攻めが速くなり、松岡のゴール下、来栖の3pシュートなどで一気に得点を重ね、逆転、5点のリードを奪う。開始3分、幕総がタイムアウト、その後は落ち着いたプレーを取り戻し、阿部のゴール下、渡邊のドライブイン・3pシュートで食らいつく。残り時間20秒、松陽 飛田がフリースローを2本決め、3点差とするが、幕総は残り6秒、渡邊が難しい体勢から3pシュートを決め、同点、87-87とゲームは延長戦に突入する。

延長戦、両チームともハーフコートマンツーマンディフェンス。渡邊の3pシュートなどで幕総が先手を奪うが、松陽も 来栖の3pシュート、牧山のフリースローなどで離されない。残り時間2分9秒、松陽 松岡のドライブインに対して、幕総 渡邊がファウル、痛恨の5ファウル退場となる。幕総は 横山のスティールからの得点を差を4点に広げるが、松陽も畑が3pシュート、牧山が速攻を立て続けに決め、残り1分19秒、逆転に成功する。オフェンスの中心だった 渡邊が退場した幕総は決め手を欠き、なかなか得点につなげることができず、逆に残り25秒、松陽 来栖にレイアップシュートを決められ、4点差。幕総も最後にシュートを決めるが、103-101で試合終了。松陽が熱戦に終止符を打ち、決勝へと駒を進めた。